

発行／坂城町公民館 発行人／中島 敏 編集／広報部 印刷所／滝沢印刷（同）
〒 389-0602 長野県埴科郡坂城町大字中之条 2468 TEL.0268-82-2069



さかきふれあい大学専門講座 『子ども茶の湯教室』開催!

3月4日（土）、文化の館で“子ども茶の湯教室”を開催しました。

お客様にお茶を差し上げ「もてなし」をする。日常のありふれた一コマですが、お客様をお迎えするために、庭をととのえ、畳を拭き、花を生け、掛け軸を掛け「しつらえ」をする。「茶道」を通して、「しつらえ」と「もてなし」という日本のな美学の世界を感じるこのことができるひとときでした。公民館文化講座「茶道（裏千家）」のご協力をいただきました。

内 容 :	2 P 行事から	3-5 P ふるさと探訪PART97
	6-7 P 行事から、500字リレートーク 他	8 P お知らせ

第二十一回更埴地区短詩型文学祭入賞作品

更埴公民館運営協議会（坂城町と千曲市で構成）主催の文学祭表彰式が、去る11月26日（土）に千曲市上山田公民館で開催されました。坂城町の入賞作品を紹介します。敬称は略させていただきます。

一般の部

【短歌の部】

◆更埴公民館運営協議会長賞

畑中の太陽光パネルが映し出す
春夏秋冬それぞれ空

滝沢さち子（入横尾）

◆佳作

病みあがり手足の萎えを鍛えようと
球打つ夫にアカシアの風

中島 照代（中之条）

◆入選

わが墓地の傍えにひっそり無縁仏
墓参のたびに花を供えつ

西澤ひろ子（北日名）

【俳句の部】

◆更埴地区短詩型文学祭大賞

螳螂の祈る姿で脱皮せり

小西 正枝（町横尾）

◆佳作

胸に抱く赤子の鼓動小六月

竹内 文（月見）

登校の挨拶通り小鳥来る

永井 浩（大宮）

◆入選

群青の空はキャンバス秋の雲

小野久美子（日名沢）

【川柳の部】

◆更埴公民館運営協議会長賞

汗まみれ優しい愛のある介護

中沢 蝶（旭ヶ丘）

◆佳作

未知の世へ夢いっばいのクレヨン画

小宮山洋子（中之条）

理解ある素敵な友がいる安堵

小川 碧（中之条）

◆入選

旅帰り体重計に睨まれる

西澤ひろ子（北日名）

【現代詩の部】

◆更埴公民館運営協議会長賞

体で知る

小宮山洋子（中之条）

古希すぎて体で覚えたことがある

この年齢に達して初めて

心の叫びを受け止め納得している

体の声

針穴に糸を通すのが困難になり

新聞を少し離して読んでいた義母

私自身メガネが必要になって気が付いた

その年齢にならないと解らない

みんな順繰りだからと義母が言った

痛み、痒み、まして心の辛さなど

本人でなければ解らない

諭え夫婦でも子供でも

医師でさえも

推し測ることは出来ない

夫が逝ってから三年も経つ

私の体を鎖のように

孤独の二文字が絡み付いて離れない

誰もが通る道かも知れないが

本人でなければ解らない

孤独感……

◆入選

夏の日のプールサイドは鉄板だ

村上小学校六年 永井 大翔

夕風にこたえる木々もぼんおどり

村上小学校六年 小林あやな

【現代詩の部】

◆入選

ほたるが教えてくれた

南条小学校六年 小嶋 鈴々

虫も畑も田んぼも私は全部キライ

だった

人がいない道ゾツとするような暗

やみせみの声

休日になると私は家族と都会へ行く

かわいい服すてきな靴たくさんの人

何もかもが新しい

何日かして私はまた暗やみへ帰ら

なければならぬ

車から降りると、私の胸にキレイ

なブローチ

するとそのブローチはフツと空へ

舞い上がった

ほたるだ

暗やみの中にたくさんのほたる

光にあわせてカエルの合唱

風にゆれる稲

私は思わずダンスを踊った

誰もいない一人のステージ

キラキラ光る大きな星はお客さん

明日は何を踊ろうか

ほたるが教えてくれた12才の夏

【俳句の部】

◆奨励賞

夏野菜みんな食べて歌ってる

村上小学校六年 永井優妃乃

小中高生の部

【短歌の部】

◆佳作

たのしみは本の世界に入りこみ

楽しい悲しい旅をする時

村上小学校六年 小林あやな

坂城地域の古地図・古絵図(3)

明治維新とお宮・お寺

お宮やお寺に縁遠い人もいると思いますが、地区のお宮のお祭りに関わったり、新年になるとお宮やお寺にお参りに行く人も多いのではないのでしょうか。

お宮やお寺にとつて、また村にとつて明治維新は大きな変動で、対応に苦慮しなければなりませんでした。

明治政府は「廃仏毀釈」を進めました。仏教を排斥し、神社神道を重視しました。松本藩だった所は多くのお寺がなくなり、坂城地域ではお堂などがなくなっています。お宮もランク付けされ、坂城神社が古代から中世にかけて坂城郷

の式内社であったことから「郷社」とされ、あとは村社と無格社(雑社)とされました。

このような過程で、政府や県はお宮やお寺、村から由緒などを書いた「明細帳」「取調書」(長野県立歴史館所蔵)を提出させています。その中には地図や絵図が付けられているのがあります。図の大きさはB5版かB4版です。その中からいくつか紹介します。

なお、坂城地域のお宮やお寺については『坂城町誌中巻歴史編(一)』の「寺社」に、廃仏毀釈等については『坂城町誌下巻歴史編(二)』の「神仏分離の社寺」に詳しく書かれています。

お宮の古地図・古絵図

江戸時代の文化・文政(二八〇四〜一八二九)の頃になると、お伊勢参りや



図2：御厨社
右上奥に小さく本社・祝詞殿・拝殿・神木上屋が描かれている。左下に「境内四周ノ状況ヲ見取圖ニ訂正ス」と書かれている。



図1：自在神社
絵図の四角の中に「信濃國更級郡村上邨(村)自在神社境内之略圖(図)」とある。階段を昇っていった所に本社があり、その前に拝殿、左に供殿が描かれている。版木が現存する。

善光寺参りなど神社仏閣の参詣が盛んになりました。旅行案内記とともに境内建物を紹介する境内図も作られました。

そんな図をまねて嘉永五年(一八五二)頃、上平区の産土である自在神社(図1)の境内図が作られました。鳥の目から見たような鳥瞰図です。この絵図にはありませんが、下の鳥居の少し上の広いところに、今

は神楽殿と遙拝殿が建てられています。

明治二十八年・九年（二八七五・七六）に県に提出した「神社取調書」から上平の御厨社（図2）、網掛の大國魂社（図3）、鼠の會地早雄神社（図4）、それと坂城神社（図5）の付図を紹介します。

御厨社（図2）は上平小野沢にあり、村上氏により寄進されたと伝えられています。

絵図は南東からの図であり、屋根に伊勢神宮内宮のシンボルである千木が載った本社や拝殿・祝詞殿が描かれています。

網掛の大國魂社（図3）は、古くは泉口明神（泉口社）といい、網掛の大國魂社が上社で上五明の村上神社（諏訪社）が下社でした。

明治十二年（一八七九）提出の明細帳に「観月楼ナキハ誤リ」として、明治二十九年の取調書に、本社

等の図とともに十六夜観月楼を入れた鳥瞰図を付けています。

鼠の會地早雄神社（図4）は、千曲川近くにあった鼠大神が寛保二年（二七四二）の「戌の満水」で流され、今のお宮の前身熊野皇大神に合祀され、寛政六年（二七九四）に改称されたと伝えられています。明治二十八年の取調書には由緒などもあり、境内見取図・本社図などが付けられています。

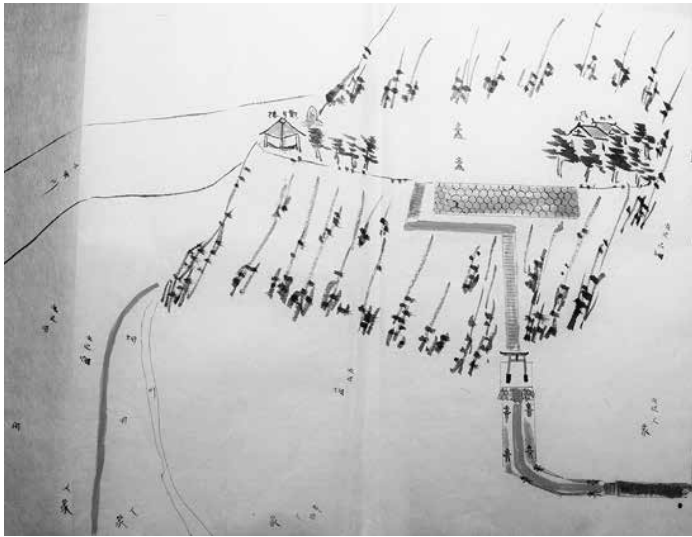


図3：大國魂社
石垣の右上に本社と拝殿が、左千曲川を望む所に観月楼（殿）が描かれている。観月楼のそばに小さな石碑がある。取調書に「拝聖芭蕉翁桃青行脚ノ途次當地へ来り『十六夜もまた更級の郡かな』ノ一句ヲ詠ズ」とあるように松尾芭蕉の句碑である。現在境内にはたくさんの句碑が建てられている。

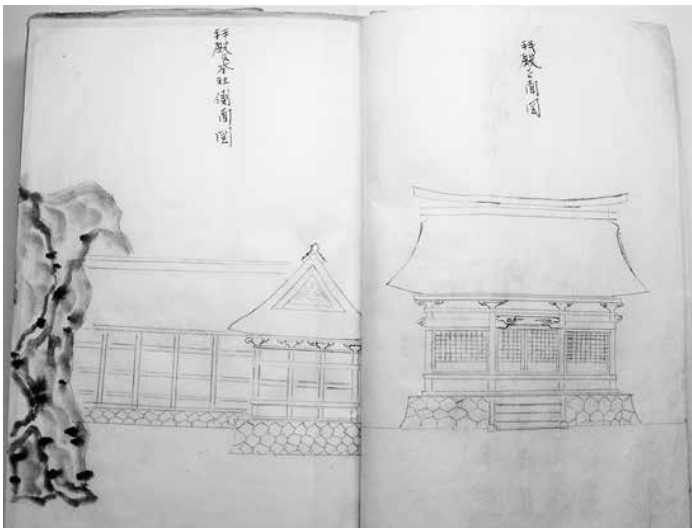
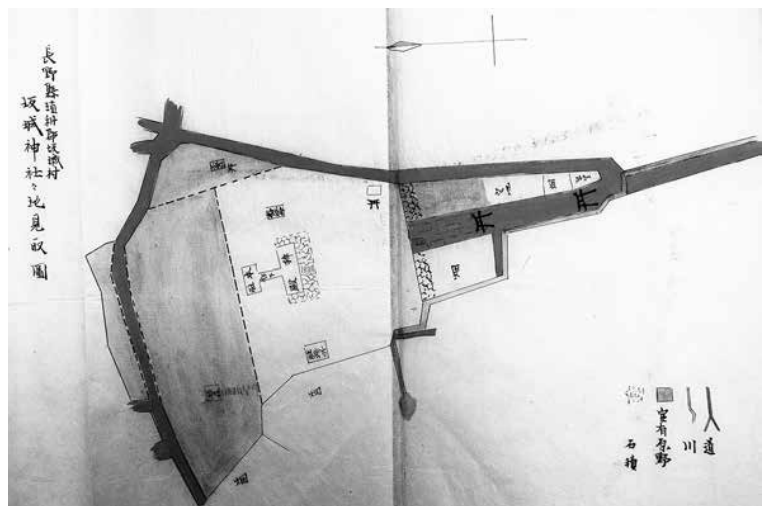


図4：會地早雄神社
右ページに「拝殿正面図」が、左ページに「拝殿乃本社側面図」と大きな岩が描かれている。ここには載せていないが、次のページには大きな岩にはさまれた「景德大神正面図」がある。

図5：坂城神社
「坂城神社々地見取圖」である。拝殿に向かって右側に「大山祇社」道のそばに「子女社」、名前のないのが「厳島社」と思われる。左側に「社務所」裏へ少し上がって行った所に「琴平社」が描かれている。現在「厳島社」は「社務所」のあった所に移っている。



坂城神社（図5）は、古くは坂城郷（南条・中之条・北条）の郷社として崇められ、明治の時にも「郷社」格となり延喜式所載の埴科郡五座の一社とされています。明治の取調書には本社・拝殿・社務所・子女社・大山祇社・厳島社・琴平社の建物図と境内の見取図が付けられています。

お寺の古地図の付図と
参拝者用に作られた古絵図

明治二十八年県に提出した「寺院取調書」にある西教寺(図6)・満泉寺(図7)と参拝用の大英寺(図8)の絵図を紹介します。

西教寺(図6)は、はじめは網掛の泉口社(大國魂社)の別当寺として湯さん館のある越戸(堂)にあり、その後、寺替により島寺として天正十五年(一五八七)

上五明集落の形成とともに現在地に移ったと考えられます。

取調書には本殿・庫裏・鐘堂などの図のほか、境内全体の鳥瞰図が付けられています。西教寺にはこれとは別に明治三十二年十二月判の「天照山良忠院西教寺之景」がある。ともに明治期の寺の様子がよくわかる絵図です。

満泉寺(図7)は、はじめ天台僧延昌により御所沢

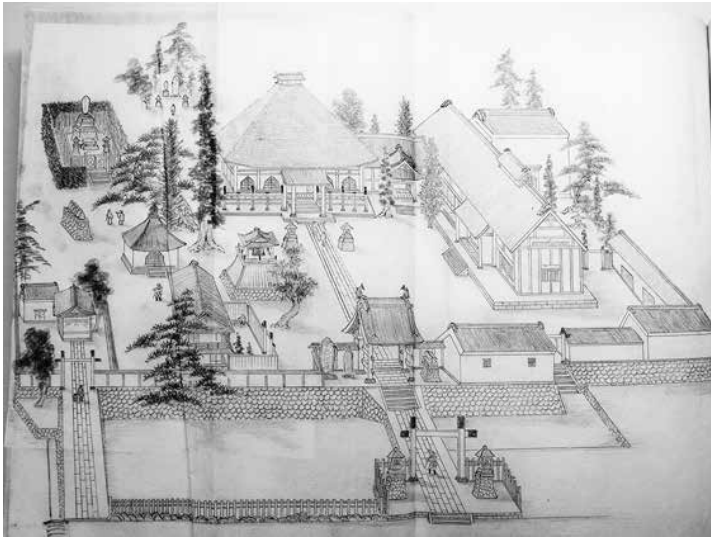


図6：西教寺

この絵図には、本堂・鐘堂・庫裏・文庫蔵・土蔵・物置・中門・字寮・薬師堂・惣門が描かれている。左上に「徳川将軍家菩提寺江戸小石川傳通院大僧正寂譽上人の靈廟」が、その奥に「開山記主禪師墓」と「村上頼清墓」がある。

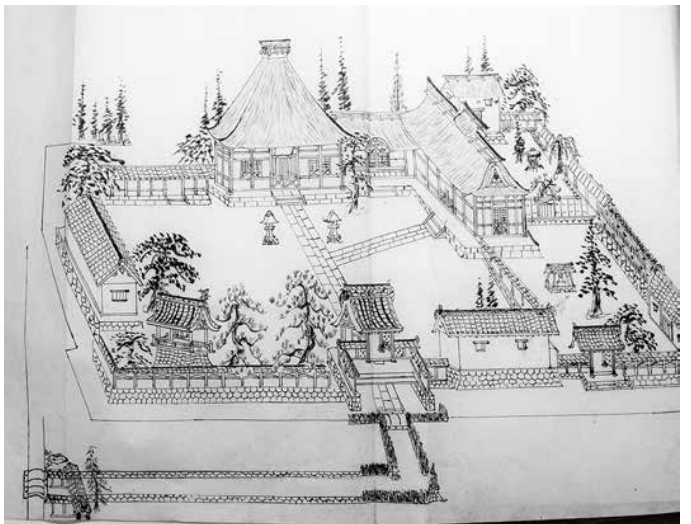


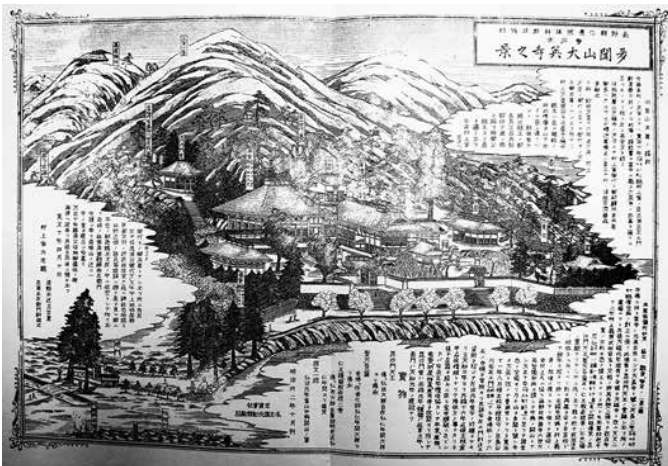
図7：満泉寺

この絵図には、本堂・鐘堂・庫裏・玄関・土蔵(2)・惣門・黒門・裏門・東司が描かれている。「取調書」によると建物の多くが「年曆不詳」が多いが、庫裡が寛延3年(1750)、裏門が天保14年(1843)、東司が明治20年(1887)のいずれも「再建」とある。

に修善寺として創建されま
す。後に村上氏の菩提寺と
なり、義清の父顕國の法号
により名称とともに曹洞宗
に改めます。
義清の子国清(景国)に
より、村上氏館跡に諸堂を
再興し現在に至る。取調書
には本堂・総門・鐘楼など
の図、建物の配置図、そし
て西教寺と同じく境内の鳥
瞰図が付けられています。
大英寺(図8)は、は
じめ僧空海の創建と伝

図8：大英寺

この絵図には、左下に総門、それから本堂・土蔵・庫裡・納屋・東司・物置・鐘楼・表門・裏門・衆寮、左手奥に毘沙門堂、當地代官長谷川安左衛門墓、左すみに當地古跡、右に現在も広くある墓地、裏の山は五里ヶ峯、その左に葛尾城址が描かれている。さらに、縁記・寺伝・宝物等も書かれている。



え真言宗天長寺、後に天台宗天福寺と改称し、村上氏の代々の祈願所でありました。小県郡海野の興善寺六世大英知掇和尚を中興開山としています。
取調書には本堂などの付図があります。これらの付図とは違って、西教寺と同じく、明治三十二年十月判「名古屋光彰館製版」の「多聞山大英寺之景」境内の鳥瞰図(長野県立歴史館所蔵)が作られています。

大橋昌人

第30回 分館対抗球技大会

2月26日(日)、分館対抗球技大会(スマイルボウリング)を開催しました。

27分館73チームの参加がありました。運動不足になりがちな冬の健康づくりと、世代間交流を目的として開催しています。

ブロック	優勝チーム
Aブロック	北日名B
Bブロック	泉 C
Cブロック	苧屋原
Dブロック	月見C
Eブロック	田町C
Fブロック	旭ヶ丘B
Gブロック	町横尾C
Hブロック	町横尾A
Iブロック	上平C
Jブロック	立町C
Kブロック	泉 B
Lブロック	立町A
Mブロック	入横尾B
Nブロック	坂端A
Oブロック	四ッ屋B
Pブロック	大宮B
Qブロック	中之条A
Rブロック	込山B
Sブロック	網掛B
Tブロック	横町B

「川柳」を詠んで人生を楽しく ～自主講座「さかき川柳愛好会」へ移行～

文化講座「川柳」代表 成澤 廣

近頃、テレビやラジオ、新聞雑誌などで「川柳」が目につき耳にします。たった一行の五七五文字の句から「なる程」と納得したり、詠まれた情景が頭に浮かんで微笑んだりした事があると思います。また既に川柳を作句され、いろいろな所に投句されている方もおありと存じます。若い方から私のような高齢者まで年代を問わず愛好者が増えています。

この度、町公民館報の紙面をお借りしまして「俳句」と「川柳」の違いを私流に述べてみたいと思います。

まず大きな違いの①季語は使用しない。②内容が動的である。③人間の社会(日常生活)を詠む。④表現は口語体(普段の話言葉)⑤切れ字(…や、…かな、…ケリ)を使わない。⑥ユーモア、おかしみ、うがち、滑稽、諷刺などを内容とするもので身の回りの物総べてを句材にして「人間」を詠む普段着の庶民文芸です。そして基本型

は五七五が定型です。ただ最近では俳句と川柳の違いはかなり接近しているようです。

以上、川柳について大雑把なことを書いてみましたが、この町の愛好者が集まって町公民館文化講座の川柳教室として開講されてから既に三十年近くの歴史になりました。

新年度を迎える機会に名称「さかき川柳愛好会」に移行し、講師なしで続けたいと思います。今会員は13名ですが、経験年数はまちまちです。川柳に興味のある方が、普段着で参加できる仲間の会です。えんぴつ、ノートを手新しい仲間に加わってください。お待ちしております。

詳しい内容は、「さかき川柳愛好会」会長 齊藤進(電話 82-3919)までお願いします。



5000字レポート 娘からの贈り物

朝倉 和雄

私は、四人の子供(男、女、女、男)を授かりました。その長女は、某航空会社に勤務している関係で空席時の航空チケットが入手可能なこともあり、一人で又は同僚とあちこちの旅を楽しんでいます。

昨年5月北海道函館・札幌の旅を我々にプレゼントしてくれました。初めての女房と娘の三人道中で五稜郭、函館百万ドルの夜景、ホテルラビスタの豪華な朝食、そして恋の街札幌に移動して時計台、札幌ビール、北海道大学、北海道庁旧庁舎、クラーク博士の羊ヶ丘展望台等々初めて北海道の地に足を踏み入れた私は、大地の広さと食べ物美味しさを感動と感動の連続でした。

四人の子供を育て上げ、(まだ一人は大学在中)第一線で仕事をすることから解き放され少し気持ち的に

楽になってきた時の娘からの誘いに感謝し、女房と相談して北海道への旅を実行しました。

旅行するには、足腰の達者のおかげで、観光しても面白くない、よとよく人は言いますが、その通りで人から聞いた旅行話は全く面白くありません。

せいぜい達者のうちに、長年共に苦労してきた女房とディスカバージャパンで行きたいと思えます。



サッポロドームを見下す羊ヶ丘のクラーク博士像の横で記念撮影する



4月からの講座参加者募集

坂城町公民館文化講座

平成29年度文化講座の受講生を募集します。複数の講座の受講もできます。初心者を対象としていますので、ぜひお申し込みください。

俳句	短歌	茶道(表千家)	茶道(裏千家)	木彫	書道	コーラス	陶芸	古文書	絵画	自主講座	
										川柳	盆栽

受講料 1人1講座につき受講料3,000円
申込場所 文化センター内、坂城町公民館(2階)
 ※申込書は、公民館にあります。
申込期日 4月3日(月)午後1時30分から
 4月17日(月)まで
 ※年度途中からの受講も受け付けます。
開講式 4月17日(月)午後7時30分～
 文化センター大会議室
 ※講座の進め方などの打ち合わせを行いますので、必ず出席してください。
その他 講座の詳細は「まなびの玉手箱」をご覧ください。
 電話 82-2069



成人式実行委員募集中!

今年の8月15日(火)に予定している成人式ですが、実行委員になってくれる人を募集していますので、興味のある人は公民館事務局まで連絡してください。
 該当：平成8年4月2日から平成9年4月1日生まれの方です。

リトミック教室

音楽(リズム)を用いて人間形成に欠かせない「社会性」、「創造性」、「感受性」を育てる楽しい講座です。保護者と子どもで参加してください。

申込開始期日 4月6日(木)から開始
 5月10日～2月21日
 毎週水曜日(年間40回)
 午前10時～11時30分
会場 文化センター
指導者 中沢敏江さん
対象 1歳半～3歳児とその保護者
受講料 8,000円
定員 20組



キッズスポーツ教室

軽運動や楽しいゲームなどで基礎的な身体づくり、コミュニケーションづくりをする講座です。

申込開始期日 4月6日(木)から開始
 5月10日～3月7日
 毎週水曜日(年間30回)
 午後4時30分～5時30分
会場 文化センター体育館
指導者 長野体育指導センター指導員
対象 3～5歳児(3歳児は若干名となります)
受講料 15,000円
定員 30名

生活改善で葬儀、婚儀をする場合の案内状に同封する通知文は文化センターにあります。ご利用ください。

葬儀・・・香典1,000円、法事3,000円

香典返しは半返し以内で、花輪は辞退しましょう。近親者はこの限りではありません。

婚儀・・・祝儀(会費)3,000円

引き出物、記念品を出さない。近親者はこの限りではありません。

館説 開 歌

三月四日、坂城高等学校の卒業式に参列させていただきました。将来の夢や目標に向かって、新たな一歩を踏み出す晴れやかな門出の式となりました。

高校卒業後、会社等の事業所で働くためには、応募用紙に必要事項を記入して提出し、入社試験を受けることとなります。

一九七〇年代前半(昭和四〇年代中頃)までは、この入社応募用紙(履歴書)は、それぞれの会社独自の「社用紙」が使用されていました。記入項目には、「保護者の職業・年収・資産」、「家族と現在の在学・勤め先」、はたまた「信仰する宗教」「購読新聞」「支持政党」等の項目を設ける企業までありました。

一九七三年、労働省・文部省(当時)は、「全国高等学校統一応募用紙」を使用するように通達しました。あくまでも、応募者本人の適性と能力に基づく公正採用選考を確保するためでした。この時「本籍地」の記入は、

字名・番地までの記入形式から、県名のみとした。

一九九六年の改定では、「本籍地」「家族」「胸囲」「色覚」欄が削除されました。また、氏名の後にある「男・女」○印選択欄は「性別」として記入する方式にしました。

二〇〇六年の改定で、応募者「氏名」欄の捺印を不要とし、また「保護者氏名」欄まで削除されました。

坂城町のある企業の採用担当者にお聞きすると、「当然『統一応募用紙』を使用しています。」と話してくださいました。

応募用紙が統一され、さらに改定され、項目の削除や変更が繰り返されてきました。そのキーワードは「人権」の二文字にありそうです。

本年度の坂城町公民館は、文化講座「絵画」を再開したり、町内の地域活動から学ぶ分館役員研修を実施したり、町民の皆さんの「まなぶ」・「つどう」場づくりをし、そして人と人とを豊かに「むすぶ」分館活動を支援してきました。次年度もよろしく願っています。